

2018春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

N o . 4 7

2 0 1 8 年 3 月 8 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

貨物鉄産労

経営動向について説明を受ける

貨物鉄産労は、3月1日、団体交渉を行い、会社から直近の経営動向等について説明を受けた。

説明では、1月の収入状況について、寒波の襲来等で灯油の需要が増加したことに加え、配送圏の見直しによる鉄道へのシフトが進展したことで車扱は好調に推移した一方、コンテナが雪害等で大きな影響を受けたことから、全体では対計画98.2%（対前年102.3%）。輸送量は、上述の要因に加え、トラックドライバー不足による鉄道へのシフトにより、対前年101.8%。また、2月においても雪害等の影響で減収となったことから、今後、事業計画達成にむけて、減収分を挽回するために努力していくとの考えが示された。

会社からの説明を受けて組合は、雪害等に起因する輸送障害が多発している中においても、組合員は安全安定輸送に取り組んでいること、また、優秀な人材を確保するためには労働条件を底上げし、働きやすい貨物会社をアピールしていく必要があることなどを主張し、次回団体交渉では納得できる回答を提示することを求めた。

一方会社は、経営状況や社員の頑張り、苦労を総合的に勘案して最終的な回答を考えていきたいと述べるに留まった。